

# 魅力満載!! 三江線

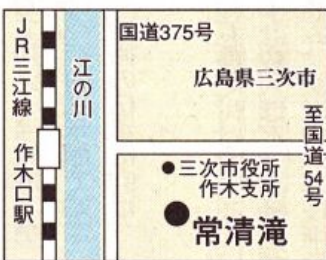
江の川沿いの風情



《8》

いく様子は、何とも言え 楽しみは近くにもある。く、レストランでは、予  
ない美しさだ。 江の川沿いに立つ「川 約なしに年中、鮎(あゆ)  
日本の滝百選に選ばれ の駅 常清」。何も川の 料理に舌鼓を打てる。  
ている名瀑(めいばく) 中にあるわけではなく、 鮎づくしの「鮎定食」  
は、マイナスイオンに包 国道375号沿いにある に、特製の出汗(だし)  
まれ、なかなか腰を上げ 休憩スポットだ。 でいたたく「鮎うどん」  
ることができないが、お その名前にふさわし や「鮎の姿寿司(すし)」。  
そして「鮎の塩焼き」。  
中でも、私のお薦めは、  
香魚の味を損ねることな  
く、かば焼きにし、あつ  
あつのご飯の上にのせた  
「鮎丼」だ。  
美しい滝と鮎料理とい  
う自然の恵みを堪能でき  
る小さな旅は、いかが。  
(邑智郡広域振興財団・  
高橋由美、美郷町都賀本  
郷在住)  
＝隔週土曜日掲載＝

滝からマイナスイオン  
が発生しているというの  
は、本当だと思う。ヘア  
ドライヤーのそれはあま  
り実感できないが、滝へ  
足を運べば、えもいわれ  
ぬ心地よさを味わえる。  
三次市作木町にある常  
清滝も、例外ではない。  
爽快(そうかい) 感を与  
えてくれる滝だ。  
JR三江線の作木口駅  
から、徒歩で約三十分。  
途中の駐車場からの急な  
階段こそあれ、整備され  
た遊歩道は、サンダル履  
きでも登れる。犬を連れ  
た人や、赤ちゃんを抱え  
たお母さんとすれ違ふこ  
とだって、少なくない。  
私はまだ、お目にかか  
ったことはないが、冬に  
なると、常清滝は水の形  
そのままに凍ってしまう  
のだそうだ。今度の冬は、  
ぜひ訪れてみたい。  
これから本番を迎える  
秋も、必見である。赤く  
色づいたモミジの浮かん  
だ滝つぼに、水が落ちて



## 常清滝

# 落差120メートル 日本百選の名瀑

120メートルを超える高さか  
ら、しづきをあげながら  
落ちる水流が迫力と涼し  
さを感じさせる常清滝